

◀ダイヤモンド隊型を敷いて会場上空をブルーエンジェルの4機編隊? が飛行。一糸乱れぬ編隊と言いたいが、実は4機をアルミ・パイプで結合したもので、前方3機が主翼、最後尾の機体が水平尾翼の役目を果たしている。全幅1280mm、全長1020mm、重量1120g、翼面積15.7dm²

▶アナウンスはヒロボ一東京営業所長の本暮登氏(右)。阿部伸氏(左)も名調子を添える。



▶ダミー編隊のアイデアは、以前に見たりノ・エアレースがきっかけと言う安藤由隆氏(左)・OS20FPエンジン搭載、翼型はオリジナル15%対称型。飛んだのが不思議と謙遜するが、その飛行は見事。助手は浮島氏。



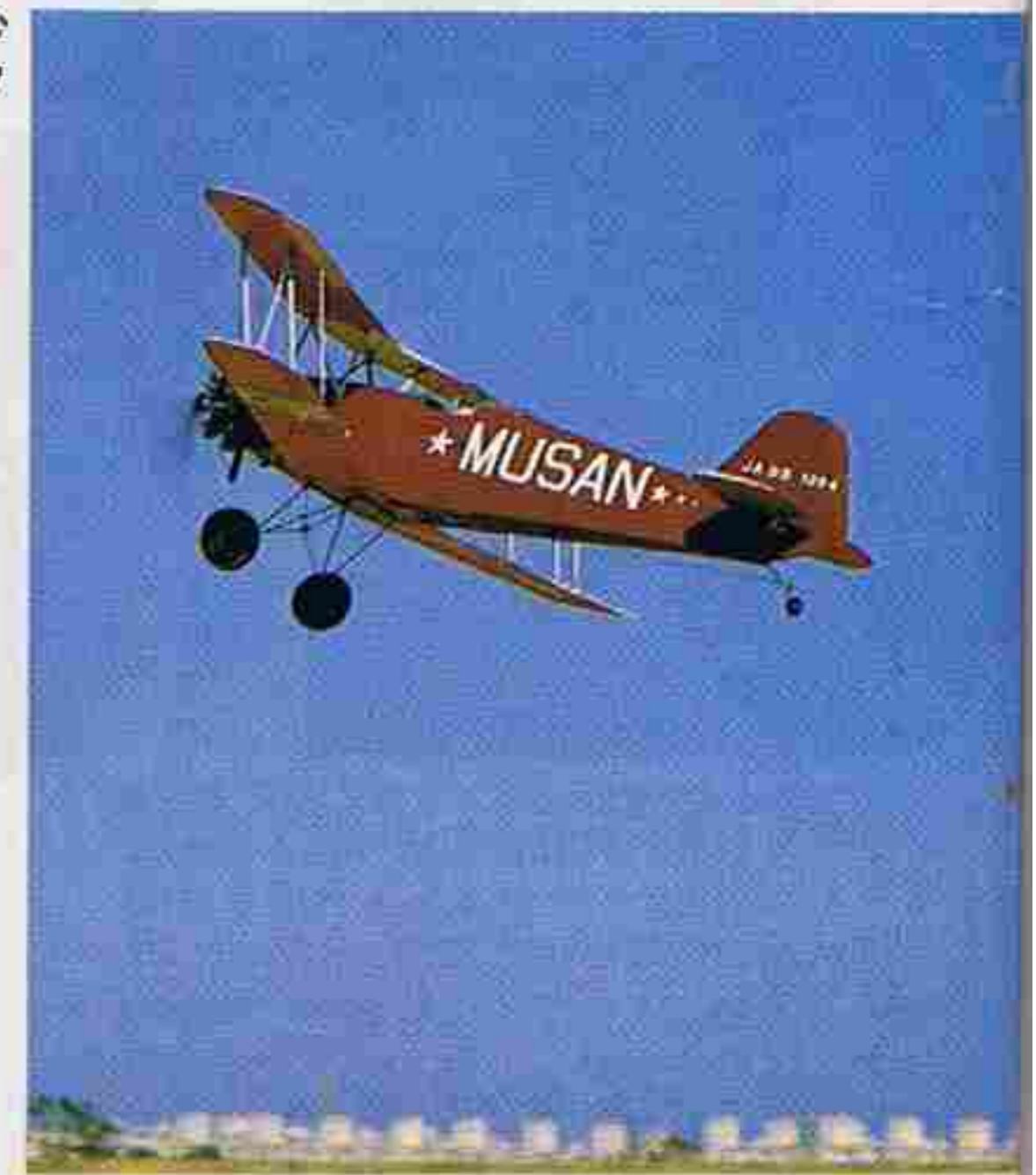
↓精緻なメカがウケた泉水栄二氏のジャイロコプター。



↑歴代のF3Cヘリ日本チャンピオンによる夢の競演に観客席がわく。

↓観客席の前に出場機が並ぶ。飛行艇は会場前方の川から離水した。

▶SAITO FA325R5のサウンドも心地良い村上甫氏のフォッケウルフ初級練習機。



●ここに紹介の機体は、いずれも安藤由隆氏製作

スカイホーク4機をパイプでつなぎ 手軽に編隊飛行を楽しむ

ダイヤモンド編隊を組み、大空に華麗なアクロを繰り広げるブルーエンジェルス。数年前、リノ・エアレースで見た感動のシーンが忘れられず、本機の製作を思いついた…と安

藤由隆氏。RC機で編隊飛行を行なうのは至難の技だが、本機は4機をアルミ・パイプで合体。OS20FPエンジンで宙返りやロールなど迫力満点のフライトを見せる。



第2回航空ページェント出場機

← 本文135ページ参照